

令和 8 年度（2026 年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

【B 日程入試】法律専門科目試験

民法 出題の意図

問題 1

相続法の基本概念についての理解を問うものである。一定の相続人のために、法律上、必ず留保されなければならない遺産の一定割合、というような定義を前提に、基本的事項として誰が遺留分を受けるのか、遺留分の放棄はどのような場合に認められるかといった記述を求める。

問題 2

建物賃貸借契約が解除された後に、賃借人によって建物に関する有益費が支出された場合に、賃借人が有益費償還請求権を被担保債権として建物について留置権を主張できるかが問題である。民法 295 条 2 項との関係が問題となり、最判昭和 46 年 7 月 16 日民集 25 卷 5 号 749 頁を踏まえて解答することが求められる。留置権の効果に関する記述も求められる。